

まどい

秋田県羽後町仙道中学校昭和30年卒

まどい編集室

186-0003 東京都国立市富士見台 3-6-404
tel/fax 042-574-8694 ・直 090-2932-4408

まどいホームページ

<http://www32.ocn.ne.jp/~madoi/>
mail: madoi30s@ce.mbn.or.jp



湯沢駅の

「かえる」くん

昨年だったでしょうか、「JR東日本では秋田県のいくつかの駅で緑の窓口を廃止しました。その中に湯沢駅も含まれていました。

今や奥羽は陸の孤島のように、在来奥羽本線がコトコトと走っています。しかも横手から南山形の新庄まではワンマンカーになっています。湯沢はまだ駅員がおり、車両のど

の出入り口からも出入りできませんが、無人駅では最後部または最前部からしか乗下車できません。それが判らないと乗り越すおそれさえあります。

湯沢駅は、山形新幹線延長の不透明化とともに緑の窓口の廃止が決まりました。代わりに登乗したのが券売機「かえるくん」です。奥羽本線では、土崎や追分など五駅に設置されています。

実際私がこの券売機で切符を買ってきたのですが、対話式の券売機で最初に開始のボタンを押すと、盛岡の拠点センターとの通信回線を使ってその案内で切符を買うことができます。

湯沢駅、緑の窓口営業停止とは聞きました。また窓口の表示はありました。前号の「まどい」で厚木の今福こと棟梁が自動販売機で切符を買うことへの煩わしさを書いていま



したが、オペレーターが居るにせよ湯沢でもその感を免れませんでした。

山形新幹線の延長は奥羽の住民にとっての願いでもありました。しかし今はJRでも計画は全くなしで、そればかりか新庄から羽越線に結ぶ話が出ているとさえ聞かれます。

奥羽本線といったら、つい最近まで東北の幹線鉄道でした。今ではその鉄路も新庄では完全に埋め立てられています。かつて学生服のママ夜汽車に乗って通ってきた鉄路。ここまで分断されたのを見ると、時代の移り変わりよりもふるさととのつながりを切断された思いにさえなるものでした。そうなるとなおさら奥南が取り残される状況になります。

山 柳

= ほろ苦さに惹かれて =

高橋孝之助

定年退職、自主退職、リストラ、倒産など事情は様々であるにせよ、離職された人が詠んだ句に、こちらの胸中をホロ苦くさせるものが多くあった。その中から抜粋して掲載する。

いざ会社を辞めて、毎日遊くところが無くなった。男たちの心境は何ともやるせない。自分の心境も入れながら転記する、

背広来て用も無いけど町に出る

肩書きが消えて途絶えた年賀状

気持ちだけ右上がりで歩くくせ

一人だけ笑わぬ部下が居る不安

家族より少ない部下をもてあます

晩酌に毎日通う販売機

可愛い子旅をさせたら帰らない

まだ寝てる帰ってみればもう寝てる

酔うと出るオレが出世しない理由わけ

愚痴言える家のママより店のママ

国のため普働け今休め

松茸はおいしくないよと子に教え

ボーナス日ウウを返せば返済日

成人病成人式より先になり

同窓会墓場でやれば勢揃い

大晦日今日もホームでそばを食う

60年めに頂いた 先生のはなまる

手を取り合ってお話をしたのはおそらく今までになかったような気がします。先生と言うよりも今は「アバ」であり「アネ」のような感じでした。

60年前、昭和21年小学校に上がった私たちの担任を務められました佐藤ヨミ先生。一度お会いしたいと思いつき、60年の歳月を重ねてしまいました。今は「地蔵院」で穏やかにお暮らしています。

8月9日、その日は実兄の葬儀の日でもありました。都合「地蔵院」で執り行われていましたので折り返して是非お会いしたいとそ機会を伺っていましたが、併せて35日供養の祈りに先生の方から声をかけて頂きました。

「ほら！芳雄や、せんせ呼んでるぞ、はなまるでももらってこえ」そんな声はどこからともなくかかってきます。でも職員室に呼ばれる心境はな

くうれしくって涙の出る思いでした。もしかして死んだ兄がお膳立てしてくれたのかなど。

母屋の方には、ご家族がそろって迎えてくださいました。先ほどケンターから帰られたばかり、「まじな！こんなわたしまで相手をしてくれてホントにホントのありがとう」紛れもなく先生です。義理や人情やお世辞ではなく今の私のどこかに確固とした一つを占めていたものが一度に開いた感じでもありました。人生はやっぱり物語なのだと思いかい先生の手のなかで思いました。「アバ」だ、「アネ」だ。

先生、ありがとうございました。これからもどうぞ元気で私たちを見守ってください。ご健勝をお祈りいたします。

佐藤芳雄



お久しぶりです

飯塚和雄

います。

月日はどんどん過ぎて今年ももう9月に入りましたが、みなさんにはお変わりなくお元気で過ごすごのころと思います。9月の「まどい」には、地元のみなさんからの情報をいただくながら、「地元だより」を考えておりましたが、暑いなのんと取り紛れているうちに、ついみなさんからの「取材」を行わないでしまいましたので、単なる近況報告になってしまいました。

ことしも非常勤の形で学校にお世話になっていきます。1日あたりの仕事の時間は1、2時間と少ないですが、その他の時間は新聞を見たりしながら自由に過ごして、早めに帰宅させてもらっているという毎日です。以前は、学校勤めは夏・冬の長い休みがあった・・・と言われていたましたが、非常勤は別として、今は生徒の夏・冬の休みはあっても職員にはない状態です。ふだんも雑談など話しかけるのもためらわれるような雰囲気ですので、以前とは全く変わって

変わったことかと思いましたが、秋田県でも学校では禁煙となりました。3月まではもうもうとしていた喫煙室でしたが、4月からほぼタリとなり、あれほどの愛煙家であったのに、よくキンパリとやめられるものと感心させられます。

家では夏場は草花と畑です。草花の方はおにも朝顔です。若い同僚からもらった種ですが、毎年よく咲いてくれますので、小学生みたいに毎朝花の数を数えたり、時には写真をとったりしながら、水やりをしています。畑のほうはネコのひたいほどのものです。春から秋まで、さまざまな野菜を植えています。わが家のところは、農家の大先輩がよく通りかかるところですので、いろいろと教えてもらっています。最初の年はうねを東西にしていたところ、南北にするのが本当ですとか、ジャガイモに水をやっていたら、ジャガイモにはあんまりやらないほうがいいといったぐあいです。おかげさま

で、このごろは、自分では、だいぶ上手になったような気になっていきます。

ネコのひたいほどのと書きました。が、わが家には仙道の家があったところ。捨てられていたネコがわが家に来て9年目に入りました。いまこれを書いていいるそばで熟睡して、ネコに失礼なくらいの畑だよでも夢の中で言っているのではななどと、思っています。仙道の一軒家とちがって、ネコを飼っていることで近所に迷惑をかけることになればと、家の中で飼うことにし、朝晩には紐でつないで、外を見せたり散歩(?)させたりしています。小さいときからやってきたためか、紐を嫌がらないので助かりますが、紐をつけたネコは珍しいのか、近所の子どもさんたちは、私を見かけるとネコがいなくても、「ネコのおじさんだ」といいます。が、そう聞かせるだけで本当のところは「ネコのおじいさんだ」といっているのかもしれない。

とりとめもないことを書いてしまいました。この夏はどことも大変な猛暑であったわけですが、まだまだ残暑が続くことかと思えます。みなさんお元気に過ごして下さい。

湯沢

残念ながら早く先立たれた同期生のみなさん、すでに九名を数えることになりました。

高橋三枝子さん

昭和34年9月

武田 秀行さん

(年次不明)

高橋タキ子さん

昭和43年10月24日

土田 貞一さん

昭和58年4月10日

今平 忠雄さん

平成3年6月4日

三浦 浩二さん

平成6年2月14日

土田 清さん

平成10年6月8日

今野 健三さん

平成11年2月24日

内藤 清志さん

平成12年6月20日

安らかなれ同級生

みなさん

お元気でしょうか

今年の夏は、暑さ続きで大変でしたね。8月も3日ですがまだ夏の暑さが残っている北海道です。

この暑さで北海道の農作物も元気になり、お陰で主人も私も何とか元気を取り戻し、少しだけけれど畑を作り、ふたりででかけ楽しんでます。ドライブやリハビリのつもりで畑に出かけますが、今年の夏は本当に暑く畑に出かけるときは朝早く、暑くなる時分には帰ってくるようにしていました。

畑ではミニトマト・キウイ・ニラ(千本ネギ)などが暑い夏の陰でいっぱい採れて、隣近所に分けてあげると喜んで食べてくれるので、畑に行くのも楽しみになっています。「お父さん、この野菜のようにやっぱり健康でなくちゃだめだね」とお互いに元氣付けながら日々を暮らしておられます。

話は変わりますが、このごろいろんな事件や事故などが起きています。



おたがいに我が身に降りかからないよう願いたいものです。暑い夏も終わろうとしています。みなさんお互いに健康に氣をつけて暮らしましょう。

札幌 吉田キサ子

前号の「まどい」で、たまには先生のところへ訪ねてみてください。と書きましたが、8月姉之内の兄のところへ行ったおりに、女房とふたりでおじやましてきました。それは喜んでいただき、先生は少しもじつとしていません。台所と行ったり来たりです。女房に言われてしまいました。「お父さんも先生くらい動いたら……」

お元気な水澤先生

でもお元気な先生を見て安心しました。一人暮らしの先生、お嬢さんが心配して秋田から来てくれているようです。秋田に良いと良く言われるそうです。このままで良いと言っているそうです。週に何日か家事など近所の方にお願いしているそうです。お一人一人は優しいだろと思えます。

もう50年を超える年月、先生の教え子と言われる人たちの数は相当なものと思えますが、それでも私たち一人一人を良く覚えておられ、頭の下がる思いでした。

突然の訪問でご迷惑をかけてしまいました。先生ありがとうございます。お元気で暮らしてください。

編集手帖

◎全国の同級生のみなさんお元気ですか。「まどい」も50年を超えて、また新たな出発をしようとしています。これまで年に4回の発行から、1月5月9月と3回の発行になりました。今までに増して東海市の孝之助さんのご協力の元に続けられます。さらにはみなさんのご支援をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

◎先日NHKの「首都圏ネットワーク」の田中さんという方から、「まどい」とそのホームページのことでお話を伺いたいと言ってきました。喫茶店でしたが数時間いるとはなしました。取材ではありませんが、NHKの目にとまった事が光栄にも思っています。

◎巡る季節。暑さ寒さに氣をつけてみなさん健康で暮らしてください。

次回の発行は

1月新年号になります。

みなさんのお便りを

お待ちしております。